

出張授業や体験型イベントなどを通して国内外の環境問題を身近に捉えてほしい、持続可能な未来のために行動する人に育ててほしい——。12年目を迎えた朝日新聞の環境教育プロジェクト「地球教室®」。今年も、学校・行政・企業が一体となって、子どもたちとともに様々な視点から地球環境について考えました。

2019年度の活動



朝日新聞社が製作した教材を、全国の小学校や団体に無料配布。計26万人の子どもたちの手にわたりました。



テキスト「地球教室2019」  
環境問題を総合的に学べる  
「基礎編」「応用・研究編」の  
2冊がセットになっています。

環境について学ぶなかで興味を持ったこと、考えたことを伝える「かんきょう新聞」の募集を開始しました。

独自の環境活動を展開する企業や環境問題の専門家を講師に招き、全国各地で様々なイベントを開催しました。

東京・有楽町に全国の小学4〜6年生、約120人が集まりました。記者のレクチャーを受けた子どもたちは企業の環境活動を学び、「かんきょう新聞」作りのための取材にも挑戦しました。

環境活動に注力する企業と朝日新聞社の記者たちが全国の小学校など8カ所で開催出張授業を開催。国内外の環境問題を伝えました。  
◀出張授業の様子は次のページ(広告紙面)から

応募総数  
**6987**  
作品  
子どもたちの優秀作品を  
本日発表します。▼

各協賛企業のテーマに沿った「かんきょう新聞」は夏休み・冬休みの宿題などに利用され、6987作品の応募がありました。応募してくれた子どもたち全員に、参加賞をプレゼント。

▲19年度の参加賞は選べる2タイプ。

①苗木/②かえるストラップ(右)または、イルカのクリアファイル(左)です。

\*②はどちらが届くかお楽しみに。